○借りる（貸出）― お１人合計で15点・2週間

そのうち、CD/DVD/ビデオは合計6点まで、期間は１週間

○自動貸出機で借りる

◆自動貸出機に借りる資料を置き、貸出カードやスマート貸出でスマートフォンに表示される利用者バーコードをかざして、利用者ご自身で貸出をします。

◆自動貸出機で貸出できない資料（CD・DVDなどのＡＶ資料、相互貸借資料等）は、カウンターで貸出します。

○カウンターで借りる

◆カウンターで、借りる資料と利用者バーコードを見せてください。職員が貸出をします。

◆貸出カードを忘れた・スマートフォンにバーコードが表示できないなどの場合は、発行時と同様に住所･氏名を確認するものの提示が必要になります。カウンターでお尋ねください。

○返す（返却）― 枚方市内各館どこにでも

◆市内の図書館・分室･自動車文庫のどこでも返却できます**（他市の図書館への返却はできません）**。返却期限をお守りください。

◆６０日を超える長期延滞がある場合、新たな貸出はできません。

◆閉館時や休館中は「本の（返却）ポスト」をご利用ください。

◆CD・DVD・ビデオは、破損防止のため必ずカウンターにお返しください。

○続けて借りる（貸出の延長）

◆返却期限日までに図書館にお知らせください（電話可）。

◆図書館Ｗｅｂサービスの登録をすると、ご自身で延長できます。

◆予約がある資料・返却期限を過ぎた資料・枚方市以外の図書館から借りた資料は延長できません。（図書資料は最長60日以内で何回でも延長可能）

◆CD・DVD・ビデオの延長は、予約がない資料でも１回のみです。

○予約する（予約・リクエスト）

◆枚方市内在住か在学･在職の方に限ります。予約点数は１人上限１５点まで。そのうち、CD・DVD・ビデオは合計６点まで（図書館で確保済点数も含む）。

◆カウンター・電話での予約･リクエストは、１人１日合計３点まで。

◆Ｗｅｂ予約なら、上限１５点まで予約ができます。

◆枚方の図書館にない本は、大阪府立図書館などからの借受や購入等で用意。

◆雑誌･CD・DVD・ビデオ･マンガの予約は枚方の図書館資料に限ります。

◆資料が用意できたら連絡します。Web サービス登録済みの方はメールでお知らせします。

◆連絡後１週間を過ぎるとキャンセル（＝予約取消）します。

●利用者登録は2年で更新（住所等の確認）が必要です。

●貸出カードは、更新後、そのまま続けて使用できます。

●住所･電話の変更のたびにお知らせください（新住所の証明書を窓口で提示、または、スマート登録で申請）。

●カードを紛失したら、図書館の職員にお知らせください。

●**DVD・ビデオ**は中央・牧野・津田・香里ケ丘図書館に、CDは中央・香里ケ丘図書館に所蔵しています。

●図書館の DVD・ビデオは著作権使用料を含むため、非常に高価です。大切にご利用ください。

●図書館資料の紛失･破損は弁償をお願いしております。

図書館公式 LINE アカウント

ぜひ「友だち追加」を↓

「友だち追加」後、利用者番号と連携すると、利用者バーコードの表示や予約ができます！

※アカウント連携には図書館 Web サービスの登録が必要です。

図書館Webサービス　図書館のホームページから、パスワード・メールアドレスの登録をすると、スマート貸出が可能に！LINE 連携サービスのアカウント連携もできます（上記参照）。

アクセスして「新規パスワード登録」から登録を！

◆枚方市立図書館が所蔵する本、雑誌、CD・DVD・ビデオの予約。◆予約した内容の確認。

◆予約の取消（まだ、確保されていない資料のみ）。◆利用状況の確認、貸出期間の延長（図書資料は貸出日の翌日から２週間単位、最長60日以内で何回でも延長可能。残日数が２週間に満たない場合は、その日数での延長となります。AV 資料の延長は１週間、１回限り。

※利用者登録をしている方で、枚方市内に在住か在学・在職の方が利用できます。

〇グループで本を借りる（団体貸出） ※各図書館で登録を受付します。

読書会、幼稚園など、５名以上のグループで、４週間５０冊まで借りることができます。

〇調べる（レファレンス）

図書館資料を使い、調べもののお手伝いをします。中央図書館５階参考資料室では、各種事典・辞典の他、４６都道府県の地方面が検索できるＤＶＤ「毎日新聞全地方版」（平成１７年度版～）などが利用できます。

利用者用情報端末

●インターネット端末（中央図書館３階に８台、各図書館に１台設置）

利用者登録をしている方は利用できます。情報検索にご利用ください。

（セキュリティ設定により接続が制限される場合があります。）プリントアウトはできません。



●専用端末など

有料のオンラインデータベースなどがご利用いただけます。

（中央図書館の有料オンラインデータベース＊はプリントアウトできます）

主な使い方	データベース名など	利用できる図書館
新聞記事を調べる	朝日新聞クロスサーチ【朝日新聞】	中央＊
	京都新聞デジタルサービス【京都新聞】	楠葉
	日経テレコン【日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞、日経金融新聞】	中央＊、市駅前
	ヨミダス【読売新聞】	蹉跎
法律・判例を調べる	Westlaw Japan（ウエストロージャパン）	中央＊
	官報情報検索サービス	中央＊、楠葉、菅原、御殿山、津田
国立国会図書館の資料を利用する	国立国会図書館デジタルコレクション	中央＊、各図書館＊
	歴史的音源「れきおん」	中央、各図書館
その他	JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）【事典・辞書等】	牧野、市駅前
	農文協ルーラル電子図書館【農業関連情報】	菅原、津田
	Flier（フライヤー）【ビジネス書などの要約情報】	市駅前
	MieNa（ミーナ）【市場評価】	市駅前

〇複写（コピー）サービス ＜有料：1枚　白黒10円、カラー50円＞※カラーは、分館のみ

著作権法の範囲内で、図書館の資料（本など）に限り１部、コピーができます。

〇イベントなど　※詳しくは各図書館へお尋ねください。

◆おはなし会…絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど。

◆図書館コンサート、講演会や講座（絵本読み聞かせ講座など）、工作など。



〇様々な資料・サービス

★活字による読書が困難な人に（点字・録音図書、対面読書）

◆点字図書や録音図書の貸出を行っています。電話での申し込みもできます。

◆中央図書館、各図書館で対面読書（音訳による読書）が利用できます。

◆大活字図書のほか、拡大読書器や老眼鏡、リーディングトラッカー（中央）なども備えています。

★聞こえない・聞こえにくい人に（字幕・手話付きＤＶＤ・ビデオ）

FAX：050-7105-8152／メール：toshokan5-3@city.hirakata.osaka.jp

◆障害等の理由で電話による通話が困難な場合、「貸出の延長」も含めて、FAX・メールでの申し込みができます。

★病院での貸出（病院サービス）　※日程は『広報ひらかた』または自動車文庫（電話 050-7105-8114）で

◆自動車文庫が、市立ひらかた病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院で、２週間に１回、本の貸出を行っています。

★図書宅配サービス　※　詳細は中央図書館にお問い合わせください。事前登録が必要です。

◆来館が困難な方、障害等のある方は宅配で本が貸出・返却ができます。（ＣＤ・ＤＶＤ・ビデオ・大型本等を除く）

◆障害等の条件により送料が軽減又は免除になります。市内に在住・在学・在勤の利用者が利用可能です。

〇集会室　中央図書館ほか各図書館（市駅前を除く）の集会室を、読書会等に利用できます。詳しくは各館へ。